

日本生涯教育学会第47回大会プログラム

1 大会期 日 (受付・オンライン入室可)

1 日目 11月28日 (土) 受付 12:00～ 開会式 13:00～

2 日目 11月29日 (日) 受付 9:00～ 総 会 9:30～

2 主 催 日本生涯教育学会

3 大会参加費 会 員 : 1,000円 学生会員 : 無料

非会員 : 2,000円 学生非会員 : 1,000円

・今年度より学会大会の参加費を徴収させていただきます。

・学会参加は事前申し込み制となります。

11月20日 (金) までに下記サイトよりお申し込みと参加費の支払いをお願いします。

<https://peatix.com/event/5182146> (QRコードからアクセスできます→)



4 学 会 費 会員は受付で学会費の納入を受け付けます。年会費は8,000円です。

5 会 場 国立教育政策研究所社会教育実践研究センター (社研)

〒110-0007 東京都台東区上野公園12-43 TEL 03-3823-0241

※ 参集とオンラインを併用したハイフレックス方式で実施

- ・お越しの際は、公共交通機関をご利用ください。
- ・大会は全面的にペーパーレスで実施します。オンライン参加用のURL及び、大会プログラム・発表要旨集録等は、webサイトへの掲載および会員用メールリスト (登録者のみ) 等で事前に配信します。
- ・会場では、参加者が使用できるレンタルWi-Fiを設置予定です。

6 大会日程

1 日目 11月28日 (土) ※参集とオンラインを併用 (ハイフレックス方式)

評議員・理事受付 (10:00～)

1 評議員会 (10:30～11:15)

2 全国理事会 (11:25～12:00)

受付 (12:00～)

3 研究委員会プログラム「生涯学習政策について語り合おう！」 (12:10～12:50)

4 開会式 (13:00～13:10)

5 生涯学習政策研究フォーラム (13:15～15:15)

テーマ「地域課題の解決に資する生涯学習」

6 研究発表 自由研究部会 I (15:30～17:00)

7 研究発表 展示発表 (17:10～17:40)

8 情報交換会 (18:15～)

2 日目 11月29日 (日) ※参集とオンラインを併用 (ハイフレックス方式)

受付 (9:30～)

1 総会 (10:00～10:30)

2 研究発表 生涯学習実践事例研究部会 (10:40～12:20)

休憩・移動 (12:20～13:10) / 新理事会 (12:30～13:00)

3 研究発表 自由研究部会 II (13:10～15:10)

4 会長賞表彰式 (15:20～15:30)

5 閉会式 (15:30～15:40)

○ 大会概要 1日目（11月28日 土曜日）

《日程一覧》

時間	内容	会場・備考等
10:00～	評議員・理事等関係者受付開始	1F 玄関ホール 1F ロビー
10:30～11:15	評議員会	2F 会議室
11:25～12:00	全国理事会	2F 会議室
12:00～	参加者受付開始 書籍・資料配布、販売等	1F 玄関ホール
12:10～12:50	研究委員会プログラム「生涯学習政策について語り合おう！」	2F 実習室
13:00～13:10	開会式	3F 講堂
13:15～15:15	生涯学習政策研究フォーラム 「地域課題の解決に資する生涯学習」	3F 講堂
15:30～17:00	研究発表（自由研究部会Ⅰ）	3F 講堂 3F 第1セミナー室 3F 第2セミナー室 2F 実習室
17:10～17:40	研究発表（展示発表）	3F ロビー
18:15～	情報交換会	芸大食堂

1 評議員会（10:30～11:15） 2階 会議室

2 全国理事会（11:25～12:00） 2階 会議室

3 研究委員会プログラム「生涯学習政策について語り合おう！」（12:10～12:50） 2階 実習室

茶話会形式で、昨今の生涯学習政策について会員どうして学び合う機会を設けます。国、都道府県、市区町村等の教育行政で働いている会員に、対話のファシリテーターをお願いしています。研究と実践の往還を意識しながら、ざっくばらんに生涯学習の「今」について意見交換をしませんか？

4 開会式（13:00～13:10） 3階 講堂

5 生涯学習政策研究フォーラム（13:15～15:15）（ハイフレックス方式） 3階 講堂

テーマ：「地域課題の解決に資する生涯学習」

概要：本年度の生涯学習政策研究フォーラムのテーマは、第47号年報の特集テーマでもある「地域課題の解決に資する生涯学習」となりました。人々が抱える課題を地域課題の視点から捉え、その解決における生涯学習の意義や果たす役割について考えます。

登壇者 小川 義和 会員（立正大学）

「博物館を取り巻く環境の変化とその役割の変遷」

神山 弘 会員（文部科学省大臣官房審議官（総合教育政策局担当））

「地域課題の解決を推進する生涯学習政策」

清國 祐二 会員（大分大学）

「青少年教育施設を活かした地域課題をさす生涯学習」

コーディネーター

志々田 まなみ（国立教育政策研究所）

6 研究発表 自由研究部会 I (15:30~17:00) (発表12件：ハイフレックス方式)

【Aグループ】

司会 井上 伸良 (創価大学) 3階 講堂

時間	コード	題 目	発表者 (所属)
15:30~ 15:55	III-5	米国の科学系博物館における表現戦略	熊野 有祐 (国立科学博物館)
16:00~ 16:25	II-6	1970年代の図書館及び司書必置の図書館法改正提案のその後—他職で任意設置に改めた1985年の国会審議の内容から—	春田 和男 (東京家政大学)
16:30~ 16:55	II-6	図書館の設置及び運営に関する基準をめぐる議論の特徴	葉袋 秀樹 (筑波大学名誉教授)

【Bグループ】

司会 出口 寿久 (旭川市立大学) 3階 第1セミナー室

時間	コード	題 目	発表者 (所属) ※○は共同研究の口頭発表者
15:30~ 15:55	II-9	形成的アセスメントにおける「改善」の拡張—みんなのセミナー参加高校生の語りにみる調整対象の移動と自己形成—	西塚 孝平 (東北大学)
16:00~ 16:25	III-2	哲学対話における社会的学び	○本多 慶輝 (北海道科学大学) 本宮 大輔 (北海道科学大学) 郡谷 寿英 (北海道科学大学)
16:30~ 16:55	II-2	市民力評価ツールとしてのThe London Civic Strength Tool (LCST) の検討	○山川 肖美 (広島修道大学) 三浦 浩之 (広島修道大学)

【Cグループ】

司会 井上 昌幸 (栃木県教育委員会) 3階 第2セミナー室

時間	コード	題 目	発表者 (所属) ※○は共同研究の口頭発表者
15:30~ 15:55	I-1	誰が自己主導的に学ぶのか—社会人調査にみる成人学習者の特徴—	岩崎 久美子 (放送大学)
16:00~ 16:25	IV-1	子どもの放課後支援における元教員へのサポート	茂野 賢治 (帝京大学教職大学院)

【Dグループ】

司会 桜庭 望（東京都庁） 2階 実習室

時間	コード	題 目	発表者（所属）
15:30～ 15:55	III-32	青少年教育施設におけるレジリエンス育成プログラムの改善—人的支援体制に着目した防災キャンプの実践研究—	松浦 賢一 （北海道教育庁）
16:00～ 16:25	I-5	生涯学習者としての日本人学生ボランティア—留学生対象日本語科目における参加動機と経験の意味づけ—	山内 薫 （江戸川大学）
16:30～ 16:55	I-5	学習内容別にみた生涯学習の将来予測—機械学習アプローチによる「生涯学習に関する世論調査」の二次分析—	白木 賢信 （東京家政大学）

7 研究発表 展示発表（17:10～17:40） （発表1件：参集のみ）

時間	コード	題 目	発表者（所属）
17:10～ 18:00	V-1	子ども食堂を通じた地域コミュニティの変容プロセス	宮地 孝宜 （東京家政大学）

※展示発表は、大会1日目の受付時よりポスターを掲示する予定です。

8 情報交換会（18:15～）

会費：4,000円（予定・現地で徴収します） 会場：芸大食堂

○ 大会概要 2日目 (11月29日 日曜日)

《日程一覧》

時間	内容	会場・備考等
9:30～	受付	1F 玄関ホール
10:00～10:30	総会	3F 講堂
10:40～12:20	研究発表（生涯学習実践事例研究部会）	3F 講堂
12:20～13:10	休憩・移動	
12:30～13:00	新理事会	2F 会議室
13:10～15:10	研究発表（自由研究部会Ⅱ）	3F 講堂 3F 第1セミナー室 3F 第2セミナー室 2F 実習室
15:20～15:30	会長賞表彰式	3F 講堂
15:30～15:40	閉会式	3F 講堂

1 総会 (10:00～10:30)

3階 講堂

2 研究発表 生涯学習実践事例研究部会 (10:40～12:20) (発表3件：ハイレックス方式)

司会 坂口 緑 (明治学院大学) 3階 講堂

時間	コード	題 目	発表者 (所属) ※○は共同研究の口頭発表者
10:40～ 11:05	V-1	外部の人材が地域コミュニティを基盤とした活動に参加するには～大学生の中山間地域における農業支援から考察する～	神田 雅貴 (川島町役場)
11:10～ 11:35	V-1	地域貢献教育プログラムにおける「達成感と副反応」—「九女わくわくパーク」がもたらす学生のメンタルヘルス変容—	富山 禎信 (九州女子大学)
11:40～ 12:20	V-1	建築・まちづくりをコンテンツとしたデンマーク短期留学プログラムの生涯学習的価値	○矢野 拓洋 (東洋大学) ○神成 友里杏 (日本女子大学大学生・非会員)

3 研究発表 自由研究部会Ⅱ (13:00～15:10) (発表15件：ハイレックス方式)

【Eグループ】

司会 岡田 正彦 (大分大学) 3階 講堂

時間	コード	題 目	発表者 (所属)
13:10～ 13:35	Ⅱ-6	公民館からコミュニティセンターへの移行実態からみる行政による制度転換と地域運営組織の形成	出口 寿久 (旭川市立大学)
13:40～ 14:05	I-5	1990年代以降の日本におけるフォルクホイスコーレ実践の特徴—目的、形態に焦点を当てて—	佐藤 裕紀 (新潟医療福祉大学)
14:10～ 14:35	Ⅲ-33	フォルクホイスコーレ留学が社会人にもたらす価値	矢野 拓洋 (東洋大学)
14:40～ 15:05	Ⅲ-33	成人学習者としての保護者の学びの継続・展開に関する理論的検討	若林 雅子 (石巻専修大学)

【Fグループ】

司会 神田 雅貴（川島町役場） 3階 第1セミナー室

時間	コード	題 目	発表者（所属） ※○は共同研究の口頭発表者
13:10～ 13:35	Ⅱ-8	社会教育主事の職務における日常的行動の可視化— 「個人の経験」から「客観的評価指標」への転換に向 けた試論—	○郡谷 寿英 (北海道科学大学) 本多 慶輝 (北海道科学大学) 本宮 大輔 (北海道科学大学)
13:40～ 14:05	Ⅱ-8	地域学校協働活動推進員等の役割とその課題	○志々田 まなみ (国立教育政策研究所) 熊谷 愼之輔 (岡山大学) 佐々木 保孝 (同志社女子大学) 天野 かおり (下関市立大学)
14:10～ 14:35	Ⅱ-8	社会教育士制定後における社会教育主事への役割期待	大西 広海 (埼玉県蓮田市教育委員会)
14:40～ 15:05	Ⅳ-1	中年男性の地域貢献活動に関連する先行研究につ いて	森 勲男 (鎌ヶ谷市教育委員会)

【Gグループ】

司会 小川 義和（立正大学） 3階 第2セミナー室

時間	コード	題 目	発表者（所属）
13:10～ 13:35	Ⅲ-32	「総合的な探究の時間」が市民性教育に果たす役割	月峯 聡子 (九州大学大学院生)
13:40～ 14:05	Ⅲ-32	青少年教育施設におけるオーセンティックな学びの実 践—体験活動と小学校各教科等の学びの接続—	藤井 玄 (国立岩手山青少年交流の家)
14:10～ 14:35	Ⅲ-22	授業時数特例校の取組と授業時数増減教科等の現状	大西 麗衣子 (尚美学園大学)
14:40～ 15:05	Ⅲ-23	持続可能な消防団における教育・訓練システムに関す る基礎的研究—各地の消防団の取り組み事例から—	磯部 孝之 (株式会社JCIAインサイト)

【Hグループ】

司会 桑村 佐和子（金沢美術工芸大学） 2階 実習室

時間	コード	題 目	発表者（所属）
13:10～ 13:35	I-3	1960年代における母と子の読書運動—福岡県を事例と して—	山梨 あや (慶應義塾大学)
13:40～ 14:05	Ⅲ-2	パイプオルガン体験講座と生涯教育：東海大学が果た す役割への考察	松本 奈穂子 (東海大学)
14:10～ 14:35	Ⅲ-26	自治体におけるオンライン型生涯学習講座の普及に向 けた課題分析	木暮 照正 (福島大学)

4 会長賞表彰式（15:20～15:30）（ハイフレックス方式）

3階 講堂

5 閉会式（15:30～15:40）（ハイフレックス方式）

3階 講堂